

交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	イタリア ポローニャ大学
留学先での所属学部・研究科:	経済学部
留学先での在籍身分:	学部生
留学期間:	1年間
神戸大学での所属学部/研究科:	経済学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2019/7/20
本報告書記入日:	2019/9/4



1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	9月 18日
	学年終了月日:	5月 31日
	学期:	① 9月 19日～ 12月 18日(前期)
		② 2月 14日～ 5月 24日(後期)
③ 月 日～ 月 日		
④ 月 日～ 月 日		
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	留学生の数がとても多く、英語での開講科目もたくさんある。事前の履修登録がなく、試験を受ける時に初めて登録するシステム。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	留学生デスクでは英語で対応してもらえる。
	勉学面でのサポート:	授業によっては、留学生用に別の試験を用意してもらえる。
	精神面でのサポート:	
	住居・生活面でのサポート:	大学側が住居を探してくれるサービスがあるが、基本的には自分で探す方がいい。寮はあるが、とても高い。市バスの定期が留学生なら、誰でも10ユーロ(1年間)で買えるので、とてもお得。
	課外活動のサポート:	
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	大学の寮というのではないが、大学が外部に委託してやっている学生寮のようなものがあって、実際に入居している友達もいたが、値段がとても高いそう。(月10万円前後)留学生のために大学側が住居を探してくれるサービス(SAIS)というものがあるが、あまり評判はよくなく、基本的に自分で探したり、先輩から引き継いでもらう方がいい。
-----	--------------------------------------	---

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	大家さんがWi-Fiを用意してくださっていて、料金は家賃に含まれていた。
3-2	医療について	
	留学期中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	病院に行くことはなかった。水道水は飲んでも問題はないが、カルシウム濃度が高くて、料理にはあまり使っていなかった。基本的にスーパーで買っていた。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	現地口座の開設は必要なく、キャッシュパスポートを作ってから行って、親に毎月振り込んでもらっていた。現金が必要なときはATMでキャッシングしていた。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	日本学生支援機構(JASSO)
	支給額(円/月):	8万円
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	20万円
	住居費:	(月額)3万円 × (留学月数)10ヵ月 = 30万円(別でガス・電気代が5万円程)
	食費:	(月額) 3万円 × (留学月数)10ヵ月 = 30万円
	保険料:	75,320円(付帯海学10ヵ月分)
	その他:	SIMカード(2500 × 10ヵ月) + 滞在許可証発行(1万) + 市バス定期(1300円) 円
	合計(留学期間全体の費用):	90万円程
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	日本とは違って良い意味でのんびりした空気があって、最初の方は仕事が遅いように感じたが、暮らしてうちに慣れてきて、不便に思うこともなくなった。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	現地で暮らしておられる日本人の方とお会いしたりしたが、基本的には大学を通して出会った現地の友達が多い。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	ボローニャは、ミラノやベネチアほど観光地ではないので、観光客は少なく現地の暮らしを感じることができる。昼間の治安は悪くないが、夜遅くの市街地は気を付けた方がいい。治安が良いといっても、アジア人はスリに気をつける必要がある。中国やアラブ、アフリカ系の移民が多く、街では若干そういう人たちに対する差別意識を感じた。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	ボローニャ大学のホームページ
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	レンジでお米が炊ける容器、ラップ、だしの素、友達などに日本からのお土産
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	日本とは全く違った文化の中で暮らしたことで、貴重な出会いや経験を得られた。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	財布を無くしたとき(日本人の友達が助けてくれて、キャッシュパスポートの発行もすぐできた)
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	同じ大学に留学している先輩を紹介していただき、とても助かりました。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める(大学からもしっかりサポートしてもらえて、海外の大学に留学することができるというのは本当に貴重な経験で、必ずそれは自分自身の成長につながると思います。)
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	5
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	5
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
・留学全体の総合的な評価	5	

8. その他伝えておきたいこと、感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

■ボローニャ大学について:上にも少し書いたようにボローニャ大学では、試験のとき(2.3週間前から)に初めて履修登録するので、試験を受けない授業も取ることができます。私は英語で開講されている授業を受けていましたが、せっかくイタリアにいるのでイタリア語で開講されている授業にも出てみたりしていました。また、授業によりますが、試験のチャンスが数回あって、1回目で落ちてでも勉強しなおして2回目を受けることもできます。実際に私は1回目で落ちてしまい、2回目の試験で受かった授業もあります。英語で授業を受ける、ということは、日本で経験していても、現地で実際に受けると全く違って、1回で聞いて、ノートを取って、と全て理解するのは難しく、録音して家で聞いて復習してそれでもついていけなかったり、悩んだときもありましたが、繰り返していると慣れてきて、心なしかリスニング力も上がったと思います。

■ボローニャという街について:学生の街なので、街はボローニャ大学の学生、留学生で賑わっています。(大学の長期休暇のときはいつもより静かな感じがしました。)地下鉄やトラムは通っていないので街中での移動はもっぱらバスです。ですが、バスの本数はとても多く、終バスも25時ぐらいまであるので移動に困ることはないと思います。中心街の中であれば、そこまで広くはないので徒歩でも全然大丈夫です。ボローニャは大きな観光地ではないので、学生や現地の人が多く、穏やかな時間が流れています。ミラノやベネチアに行くと、アジア人はどうしても観光客として扱われることが多いように感じたのですが、ボローニャではそんなことは少なく、現地で暮らして楽しむことができました。そのおかげで、日常生活ではイタリア語を話す機会が多く、イタリア語の上達につながりました。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 / 週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Introduction to Italian Culture2	Stefano Cavazza	1コマ2時間 × 12コマ	6cfu	英語	150人程	留学生向けの授業。毎回オムニバス形式で、最後にエッセイを提出する。
2	Economic History	Vera Negri/Patrizia Battilani	1コマ3時間 × 20コマ	8cfu	英語	80人程	記述式の間中テスト、期末テスト
3	International Law	Attila Massimiliano Tanzi	1コマ2時間 × 29コマ	9cfu	英語	120人程	記述式の期末テストと口頭諮問
4							
5							
6							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等